

## 論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 523 号	氏名	三川 浩太郎
学位審査委員		主査	沖田 実
		副査	川上 純
		副査	本田 純久
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価</p> <p>本研究は、臨床において簡便かつ安全に実施できる健康な中高年者用のフィールドテストとしての全身持久性の評価法を考案し、その再現性と有用性について検討したもので、目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価</p> <p>健康な中高年者を対象に、考案した <b>15m incremental shuttle walking test</b> (以下、<b>15m ISWT</b> と略す) を 1 週間以内に 3 回実施し、この評価法の成績である移動距離に加え、最大心拍数や最大酸素摂取量についても測定を行い、<b>15m ISWT</b> のテスト間の再現性を統計学的に解析している。また、今回測定された <b>15m ISWT</b> 実施時の最大酸素摂取量を厚生労働省が発表している健康作りのための最大酸素摂取量と比較することで、本評価法の有用性についても検討しており、研究手法としても妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価</p> <p>上記手法で解析した結果、考案した <b>15m ISWT</b> は 2 回目以降の測定で高い再現性を示し、しかも今回測定された最大酸素摂取量の最大値は厚生労働省発表の基準値を上回ることから、有用性の高い評価法であることが明らかとなった。つまり、本評価法は今後、中高年者の健康増進医学分野の研究に応用が期待できる。</p>			
<p>以上のように本論文は健康増進医学研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			